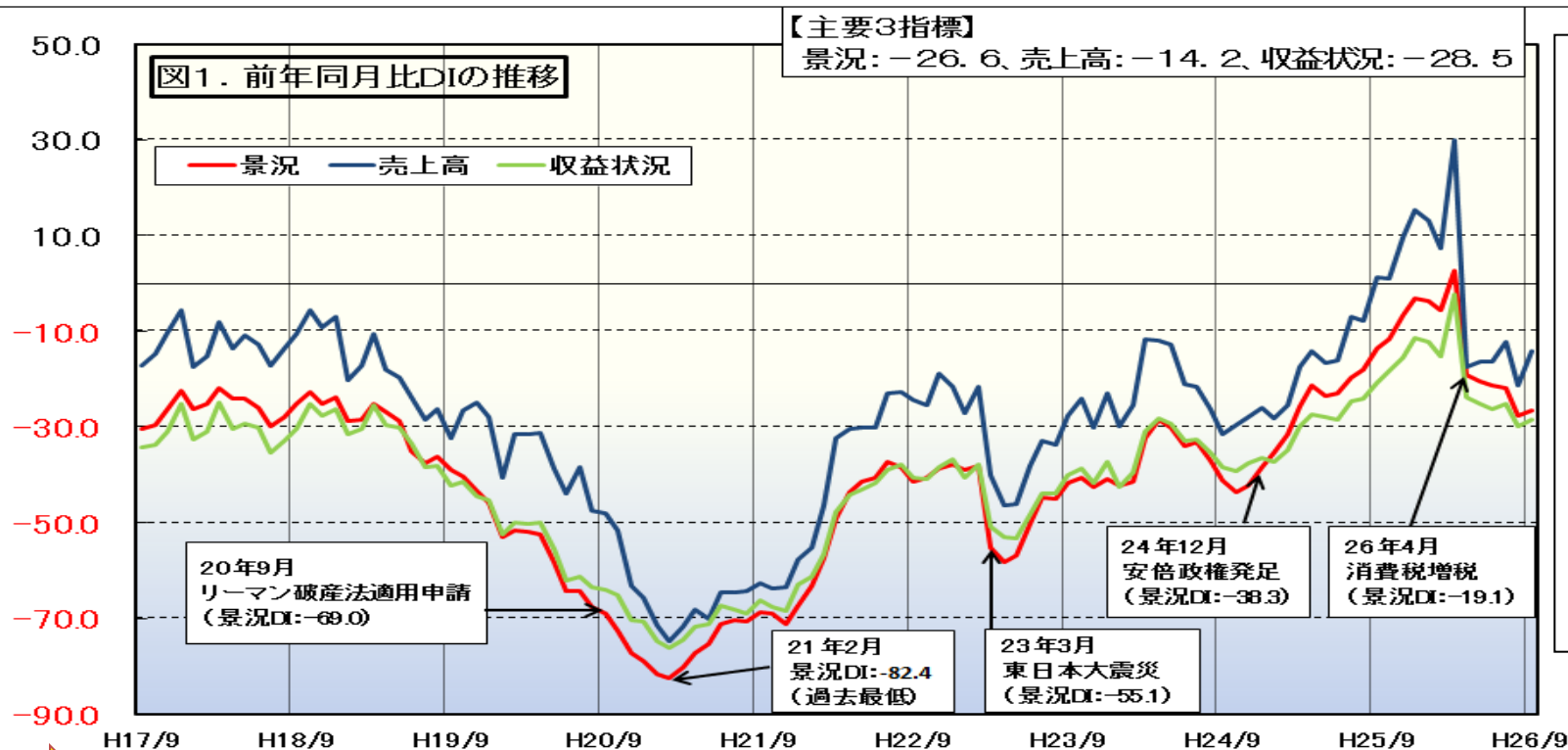


平成26年11月19日  
全国中小企業団体中央会

### 1. 中小企業の景況（中小企業月次景況調査）（10月20日プレス発表）

・9月は、9指標中6指標が上昇となった。売上高DIは前月比で7.1ポイントと大きく上昇したが、天候不順等の影響により前月分の受注・売上が9月にずれ込んだという指摘があり、全体として見れば、実態はほぼ横這い。円安に伴う原材料費の高騰や燃料価格の高止まりによる収益環境の悪化を懸念する声は依然として多く、先行きを慎重に見極める必要がある状況。



本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合(協同組合、商工組合等)の役職員約 2,600名に委嘱〕による調査結果です。  
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な状況(前年同月比)です。

ようやく「デフレ脱却が実現できる」という前向きなマインドを後押しする経済対策を！

## 2. 中小企業団体中央会の取組み

### ～ものづくり補助金による中小企業の革新への支援～

#### 1. 成果

- ・24年度、25年度の補正予算で**2万5千者**もの中小企業の革新的取組を支援

24年度事業化達成率 34.2%

(24年度：補助事業実施企業9,747者に行った成果評価調査事業調査(平成26年11月)のうち、有効回答のあった6,958者から、「製品販売に関する宣伝」や「注文(契約)が1件以上とれた」等、事業化に進んでいる事業者2,339者の割合。なお、25年度については、現在、全案件事業に遂行中のため、統計数値なし。)

24年度事業化見込率 91.7%

(同上の調査のうち、「補助事業の取組を中断している」「不明」の事業者を除いた、「試作品の製作に引き続き取り組んでいる」、「製品販売に関する宣伝」や「注文(契約)が1件以上とれた」等事業者6,263者の割合。)

24年度企業全体：1,805億円

25年度企業全体：3,173億円

合計：4,978億円

⇒ トータル補助金の2.2倍の経済効果：

(各年度の補助金交付決定時の補助事業に要する経費の合計額(試算値))。

- ・事業化以外でも、中小企業の新しい取組を支援することで大きな効果

① 技術力の向上 97.2% (同上調査 6,415/6,597者)

② 人材の育成 91.0% (同上調査 5,961/6,548者)

③ 金融機関等とのパイプ 63.4% (同上調査 4,409/6,958者)

#### 2. 公正かつ厳正な審査の実施

- ・書面調査 ⇒ 都道府県審査 ⇒ 全国審査という3段階で厳密な審査を実施
- ・延べ全国**6万1千件の提案**から、2万5千件を厳選しており、競争率は**2.44倍**  
(平均的な申請では採択されない)

### 3. 能力発揮のための職業訓練①

## 愛知県中部金属熱処理協同組合

### 一次世代を担う中核技術者を共同養成

#### 組合の概要

業種: 金属熱処理加工業 設立: 1971年

#### 事業活動の内容

平成20年度から国の「産学連携人材育成事業」を活用し、組合員企業の中核人材育成のための教育カリキュラムを策定し、技術者育成のための教育講座(金属熱処理チャレンジャー講座)を開講。

組合主導による本格的な技術者養成システムの構築し、活動中。

#### 成果

組合主導による人材育成事業を実施し、新技術の開発、生産性の改善、問題解決能力をもった中核人材を育成する教育システムの開発を手がけた。

組合員企業をはじめ業界全体の技術力向上に貢献。



### 3. 能力発揮のための職業訓練②

## 愛知県プラスチック成形工業組合

### －「人材」から「人財」へ変える－

#### 組合の概要

業種：プラスチック成形加工業

設立：昭和39年

#### 事業活動の内容

設立以来、人材育成に力を入れて、特に技能検  
定実技試験の受託を行い、近年では中小企業技能  
者育成講座を実施している。

技能検定の直前には、組合員が講師となり実技  
講習を行ったり、講習会では、機械操作に多くの時  
間をかけて技術を体得できるなどの対策も行ってい  
る。

#### 成 果

長年にわたる技能試験を通じて実技予備講習会等を開き、合格率の向上のみならず、これまでに多くの技能者を育てプラスチック業界の技術力の底上げに貢献してきた。また、組合員自身も技能試験受験や人材育成事業への参画により、スキルアップが図られており、各組合員企業の技術力も着実に向上した。



↑ 技能検定試験

### 3. 能力発揮のための職業訓練③

## 鳥取県板金工業組合

—モノづくり産業の人材育成のための技術教育に取り組む—

#### 組合の概要

業種: 建築板金業

設立: 平成6年

#### 事業活動の内容

当組合は、共同受注だけでは経営環境が厳しいため、技術力強化と人材育成を組合の重点事業に位置づけて取り組んできた。

平成10年頃より、組合独自で認定職業短期訓練の認定校となり、技術訓練を開始して、従業員、後継者への板金技術士検定の資格取得を推進した。

#### 成果

平成23年には、従業員の6割が技能士を取得するなどの効果が出ており、アルバイト社員にも資格取得を推奨しており、21名が既に取得している。

業界では官公庁の発注条件の改善として、「安全で安心な施工のための技能士常駐」を要請していた。官公庁より技能士常駐が条件として取り入れられ、入札参加資格要件となるなど次世代の経営に直結する大きな成果を生んでいる。



技術資格研修  
← 実技



技術資格研修  
→ 座学

### 3. 能力発揮のための職業訓練④

## 長崎県鉄筋工事業協同組合

### —工業高校生の実践教育で人材定着—

#### 組合の概要

業種：鉄筋工事業 設立：1998年

#### 事業活動の内容

工業高校の土木・建築学科の2年生を対象に、建設現場で基本技能・技術の実践教育を行い、高校生の就業意識を高めた。

工業高校職員を対象に、業界の熟練技能者を講師とし、現場における先端技術を習熟させ、生徒に対する指導能力の向上を図っている。

#### 成果

①鉄筋工事業に対する工業高校の教師、生徒の理解、②教育事業を通して組合員相互の連携、③人材定着のための必要事項の理解、④組合員企業に対する人材供給の安定化の道筋が見え、恒常的人材供給のパイプづくりが強化された。



## 4. 設備集約化・共同化による生産性の向上①

# 広島県中国醤油醸造協同組合

### 広島県の地域資源 “醤油”

本組合は、高度化資金を活用して設立された組合で、醤油製造工程で最も手間のかかる**醸造部門を共同化**して「生揚（きあげ）」と「純正醤油」を製造して組合員に供給している。

「生揚」とは、諸味を搾ったままの醤油で、地元の良質な水と良質な大豆のみを使用し、大手メーカーと競争しうる上質な生揚醤油を製造している。この生揚に火を入れると一般的な醤油になり、各組合員が火を入れ製品化している。



諸味の熟成



タンクが並ぶ工場内



組合の全景

## 4. 設備集約化・共同化による生産性の向上②

# 愛媛県八幡浜官材協同組合

### 愛媛県の地域資源 “ひのき”

組合員5社の製材工場を閉鎖し、**1ヶ所に集約化**・高度化することで、製品の品質・性能を高めるとともに、生産能力を拡大し、スケール・メリットにより収益力を改善した。

従来、組合員5社が個別に行っていた原木調達、製材加工を組合事業に**統合し**、調達から加工、販売の一貫体制を構築した。

また、国の「森林そ生緊急対策事業」補助金を利用して、製材工場を建築した。これにより、大量生産、大量販売が可能になり、収益の改善につながった。

組合事務所



共同製材工場施設





## 4. 設備集約化・共同化による生産性の向上③

# 宮崎県飢肥の国プレカット協同組合

### “飢肥杉”

宮崎県産材飢肥杉の需要拡大を目指し、プレカット加工システムを構築。高付加価値の加工製品の製造と国内外の市場拡大を図る。

日南地区の飢肥杉加工企業**4社が結集**し当組合を設立。組合員の**工場を統合**し建設した生産工場では、木造住宅の構造部材とその他の部材をコンピューター制御の加工機械で正確な部材加工し、顧客に届けている。

プレカット木材加工の様子



プレカット木材の保管



プレカット木材の搬送